



インターネット上の 子どもの安全ガイド

エクパット編



インターネット上の 子どもの安全ガイド

エクパット編

本ガイドは 国際エクパット (ECPAT International <http://www.ecpat.net>)
発行による Protecting Children Online: An ECPAT Guide の日本語版である。

原版編集・調査 Carol Livingston

協 力 Riita Koskela (原文執筆), John Carr, Muireann O Briain, Mark Hecht,
Denise Ritchie, Agnes Fournier de St. Maur (以上、技術的助言・寄稿)

イラスト Katarina Dragoslavic

©Copyright : ECPAT International, 2000

日本語版監修 ECPAT/ストップ子ども買春の会

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-23-25 矯風会第二会館

Tel. 03-5338-3226 Fax 03-5338-3227

ホームページ <http://www.ecpatstop.org>

協 力 財団法人インターネット協会

装丁・印刷・製本 株式会社東京創文社

発行日 2002年2月

本ガイドの翻訳及び出版に対しては英国外務連邦省から援助を受けた。

もくじ

はじめに	2
インターネット	4
新しい技術とは何か、そしてそれはどのようなものであるか？	4
ISPとは何か？ なぜISPが重要なのか？	5
どのようにコミュニケーションするか？	7
危険はどこにあるか？	12
子ども搾取者がよく利用するソフトはその他にどのようなものがあるか？	12
なぜ子ども搾取者は新しい技術を好むのか？	14
法的問題	16
子どもポルノとは何か？	16
なぜ子どもポルノが重大な問題であるのか？	17
国際的にどのような措置が講じられているのか？	18
主要な法的問題は何か？	20
表現の自由についてはどう考えるか？	24
子どもたちを守るために	27
インターネット上で子どもたちを守るためには何ができるか？	27
フィルタリング/レイティング・ソフトのパッケージとはどのようなものであるか？	29
現在何がなされているか？	32
あなたには何ができるか？	36
資料	42
◆参考文献◆便利なウェブサイト	
◆インターネット・アクセス遮断/フィルタリング/追跡ソフト	
◆団体◆ホットライン	
付録	47
エクパットの子どもポルノに関する方針	47
用語集	48



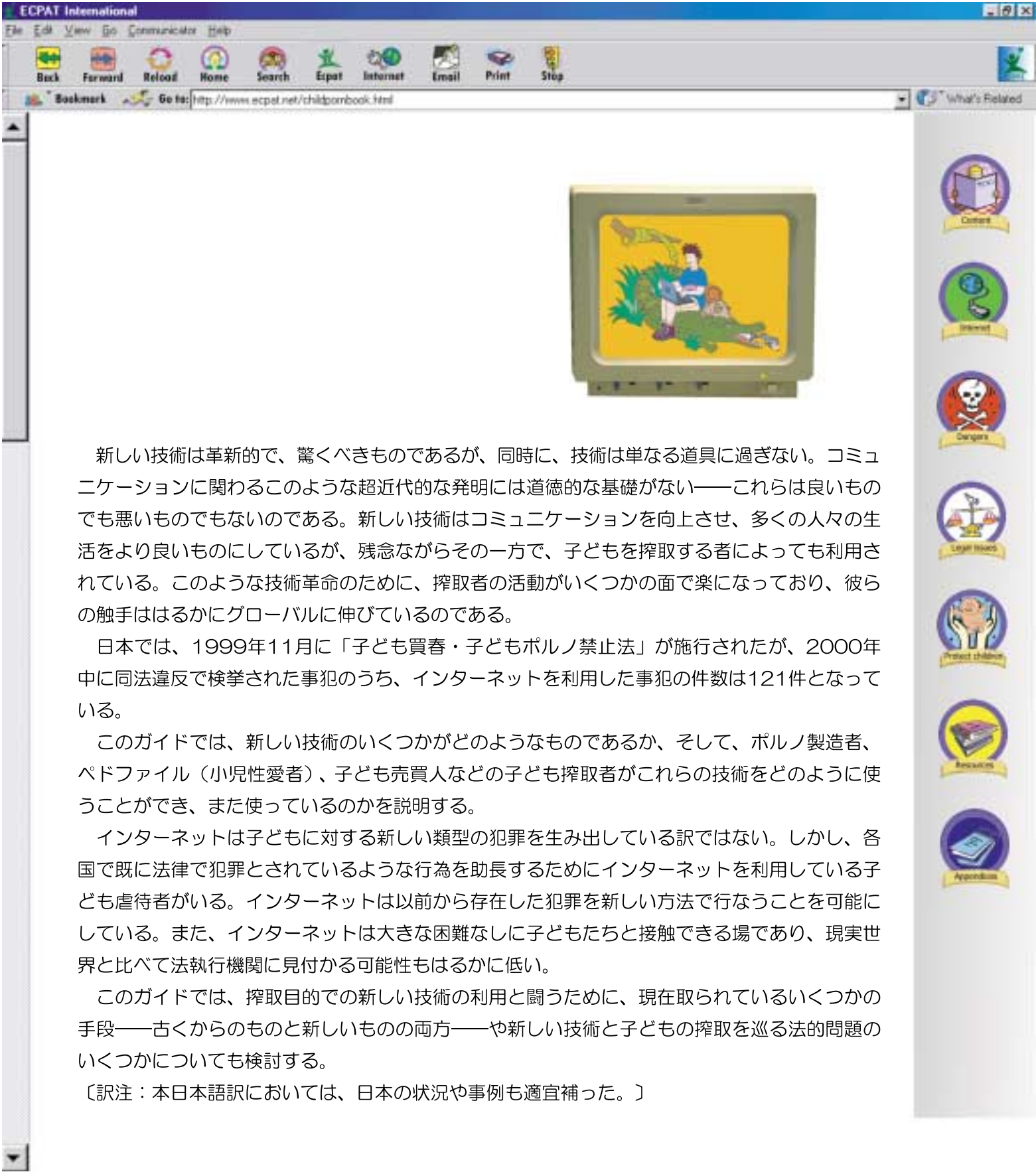


はじめに

新しい技術は驚くべき速さで私たちのコミュニケーション能力を変え、そして、新たなコミュニケーション手段を生み出している。5年前には、観光客がジャングルに囲まれたラオスの古都ルアンプラバンから電子メールを送ることができるようになるとか、オーストラリア人の50%以上や韓国人の50%近くがインターネットにアクセスできるようになる¹とか、モスクワに住む祖母がコンピュータに小型カメラを付けてサンパウロにいる孫の顔を見て話すことができ、しかも費用は小型カメラ2台の購入代金とインターネット接続料金だけで済むようになるといったことは想像に難かった。

ほんの数年前には何十万ドルも掛かり大企業だけが持つことのできたコンピュータ及びコミュニケーションの力を、2000年には誰もが1000米ドル未満で持つことができるようになった。今では、電子メール・アカウントとスキャナがあれば誰でも友人や家族に写真を送ることができる。2つの写真を1つにしたり、画像を「モーフィング」したりして、元の写真とは全く違った新しい現実を作り出すことも可能である。インスタント・チャットを利用すれば世界中に新しい友人を作ったり、旧交を温めたりすることができる。ビデオ会議パッケージも広く利用可能になっており、世界中から参加者を得て、リアルタイムの会議やライブ「ショー」を開催することができる。

1 <http://www.nua.org> を参照。[訳注: 翻訳時点での最新の数字に改めた。]



新しい技術は革新的で、驚くべきものであるが、同時に、技術は単なる道具に過ぎない。コミュニケーションに関わるこのような超近代的な発明には道徳的な基礎がない——これらは良いものでも悪いものでもないのである。新しい技術はコミュニケーションを向上させ、多くの人々の生活をより良いものになっているが、残念ながらその一方で、子どもを搾取する者によっても利用されている。このような技術革命のために、搾取者の活動がいくつかの面で楽になっており、彼らの触手ははるかにグローバルに伸びているのである。

日本では、1999年11月に「子ども買春・子どもポルノ禁止法」が施行されたが、2000年中に同法違反で検挙された事犯のうち、インターネットを利用した事犯の件数は121件となっている。

このガイドでは、新しい技術のいくつかがどのようなものであるか、そして、ポルノ製造者、ペドファイル（小児性愛者）、子ども売買人などの子ども搾取者がこれらの技術をどのように使うことができ、また使っているのかを説明する。

インターネットは子どもに対する新しい種類の犯罪を生み出している訳ではない。しかし、各国で既に法律で犯罪とされているような行為を助長するためにインターネットを利用している子ども虐待者がある。インターネットは以前から存在した犯罪を新しい方法で行なうことを可能にしている。また、インターネットは大きな困難なしに子どもたちと接触できる場であり、現実世界と比べて法執行機関に見付かる可能性もはるかに低い。

このガイドでは、搾取目的での新しい技術の利用と闘うために、現在取られているいくつかの手段——古くからのものと新しいものの両方——や新しい技術と子どもの搾取を巡る法的問題のいくつかについても検討する。

〔訳注：本日本語訳においては、日本の状況や事例も適宜補った。〕



インターネット

新しい技術とは何か、 そしてそれほどのようなものであるか？

インターネット

インターネットはコンピュータの世界規模のネットワークである。その背後にある理論は単純なものである——送信側と受信側のコンピュータ同士が直接つながってなくても、このシステムに接続すれば目的の場所にデータを送ることができる、ということ。インターネットを利用すれば、任意の数の人々の間で電子メール・メッセージやコンピュータ・ファイルを送ることができる。また、インターネットは、情報を収め、他のサイトにもリンクすることができる「ウェブサイト」の膨大な連なりであるワールド・ワイド・ウェブの本拠地でもある。

インターネットを介して送られる情報は予め決められたルートを通るのではない。インターネットは「渋滞」を回避しようとする。送信先に情報を届けるために最も効率がよく、最も速いルートを見付けるのであり、他の国のコンピュータを経由してデータを伝送することさえある。イギリス国内のロンドンからバーミンガムにファイルを送る場合でも、それが最も速いルートであるのならば、アメリカのサンフランシスコやアトランタ、そしてナイジェリアのラゴスのコンピュータを経由することもある。

今日インターネット・ユーザーは世界で約5億人おり、彼らは互いにコミュニケーションをとることができる。



ISPとは何か？ なぜISPが重要なのか？

インターネット・サービス・プロバイダー（ISP）はインターネットの背骨であり、ISPがインターネットを構成するコンピュータを動かしている。このようなコンピュータは普通、「サーバー」と呼ばれ、ほとんどの個人ユーザーがインターネットに接続する入口となっている。



ISPはインターネットへのダイヤル・アップ・アクセスを提供し、これを通じてユーザーはニュースグループ、電子メール、チャットといったものへのアクセスを得る。また、ユーザーは様々な方法でファイルをインターネットにアップロードしたり、ダウンロードしたりすることができ、ISPがこのようなファイル交換の仕組みを提供している。ISPは、自分のウェブサイトを持ちたいという人にデータ蔵置スペースとインターネット上のアドレスを提供する。誰かがそのサイトにアクセスしたいと思えば、コンピュータがそのアドレスを目指して情報を探すのである。

また、ISPはウェブサイト所有者のために大抵は「ミラーリング」サービスを提供している。ミラー・サイトはメインのウェブサイトの物理的地点から遠く離れたところに置かれることが多い。アメリカにあるメイン・サーバーに一般的なダウンロード・サイトを置いたとしても、ヨーロッパやアジアにあるサーバーにミラー・サイトを置いてこれらの大陸でのアクセスを速くすることができる。このようなミラーリング・サービスを提供するISPは、メイン・サイトにあるのと同じ情報に対するより速いアクセスを提供しているだけである。

ISPはサービスを利用してインターネットにログオンする個々のコンピュータにIP（インターネット・プロトコル）アドレスを割り当てる。IPアドレスとは、インターネットに接続している特定のコンピュータを識別するための数字であり、他のコンピュータにその所在地を教えるものである。

ある1つのコンピュータに固定したIPアドレスが割り当てられることもあるが、大抵、ISPは「動的（ダイナミック）」IPアドレス・システムを利用している。動的IPアドレスはある1つのコンピュータに固定して割り当てられるものではない。任意の数のユーザーが同じ日に同一の動的IPアドレスを利用する場合もある。




ECPAT International

File Edit View Go Communicator Help

Back Forward Reload Home Search Ecpat Internet Email Print Stop

Bookmark Go to: <http://www.ecpat.net/childpornbook.html> What's Related



それぞれのISPは、ユーザーがインターネットにログオンしようとする時に割り当てるためのIPアドレスを一定のセット持っている。動的システムはユーザーがログオンする度にランダムにIPアドレスを割り当てる。あるユーザーが午後5時1分にログオンして、あるIPアドレスを割り当てられ、それからログオフして、5時2分に再びログオンした場合、この2度目には違うIPアドレスが割り当てられると考えていい。

動的IPアドレスはインターネットの資源を分配し、情報の流れを制御する上で有用な手段である。しかし、動的IPアドレスを辿って個々のユーザーを突き止めるには、ISPの利用ログをチェックしてそのIPアドレスが特定の時間にどのユーザー・アカウントに割り当てられたかを見るしかない。また、ログからはそのIPアドレスを取得するに当たってどの電話番号が使われたのかも分かる。

ISPは動的に割り当てられるIPアドレスのログと利用情報を保持しており、それらがインターネットを使って子どもを搾取する者を見付ける上で不可欠な糸となる。ほとんどのISPの利用料金はクレジット・カードか自宅に送られる請求書によって決済されるのであるが、前払いの仕組みによってユーザー・アカウントが付与される場合もある。また、利用者が郵便為替で支払いをしたり、私書箱を住所としたりすることもある。そのため、特定のIPアドレスを特定の時間に利用した時の電話番号を突き止めることのできるログは、子どもに対してインターネットを使って行なわれた犯罪を訴追するに当たって非常に重要なのである。

多くの国では、いわゆる「無料」ISPが登場している。このようなISPを使う場合には、電話代以外にインターネット接続料金は掛からない。ある個人が一旦無料ISPに入会してしまえば、そのユーザーの本当の身元を特定することは大抵の場合不可能である。これによってタダでインターネット上に偽りの存在を得ることができる。このようにして別名を使ってインターネットを利用する犯罪者を法執行機関が逮捕するためには、ISPから完全な協力を得る必要がある。

しかし、ISPは令状なしに利用者の個人情報を提供した場合に、市民的自由を侵害することになることを恐れる可能性がある。また、そのようなデータをISPが保持し又は提供することを求める立法を行なった場合、プライバシーやコミュニケーションに関わるその他の法制と抵触する可能性もある。

どのようにコミュニケーションするか？

電子メール

ほとんどの人が知っていることであるが、電子メールとは普通、インターネット・ユーザーの間で送られる電子的な手紙を意味する。電子メールはシンプル・テキスト形式のメッセージの場合もあれば、他のファイルを添付する場合もある。また、画像、音声及び／又はビデオ情報を含めることもできる。

電子メール・アカウントは大抵の場合、ISPからインターネットへのアクセス権を購入した時に無料で与えられる。ISPがアカウント保持者の認証をクレジットカード情報の詳細を要求するといった方法で行なう場合には、その電子メール・アドレスから送信される電子メールの責任の所在をISPが把握している。

受信者は電子メール・メッセージのヘッダーを見れば、そのメッセージの送信者、送信経路その他のことを知ることができる。テキスト形式の電子メール・システムの多くでは、電子メール・ソフトがメッセージの送信元のIPアドレスと送信された時間を自動的に電子メールのヘッダーに書き込む。ヘッダーには送信者から受信者にメッセージが送られる際に経由したインターネット上のコンピュータのリストが含まれていることが多い。

無料の電子メール・アカウントはどこにいても、ワールド・ワイド・ウェブを通じて「ヤフー」、「Hotmail」といったサイトから取得することができる。このようなアカウントの場合、電子メールを読む場合も、送る場合もウェブサイトを経由しなければならない。多くの無料電子メール・システムの場合、無料ISPサービスと同様、ユーザーが身元を偽ることは簡単である。ユーザーが無料電子メール・アカウントの契約をする場合、申込フォームに記入した氏名や住所などの情報が正しいかどうかを確認するセキュリティ・チェックがなされないのが普通である。




ECPAT International

File Edit View Go Communicator Help

Back Forward Reload Home Search Ecpat Internet Email Print Stop

Bookmark Go to: <http://www.ecpat.net/childpornbook.html> What's Related



ニュースグループ

ニュースグループはインターネット上の「黒板」又は掲示板であり、同じ題材に関心のある個人が集まり、情報や質問を投稿する場である。ニュースグループのメンバーはそれぞれの投稿のタイトルを見て、読みたいメッセージを探すことができる。

ニュースグループは何万とあり、毎日新しいものがインターネットに登場している。ISPはサーバーのユーザーが購読することのできるニュースグループを制限するようにすることができる。これまでにインターネット上で発見された子どもポルノのほとんどは「Alt. Sex」（オルターナティブ・セックス）というニュースグループを通じてやり取りされていた¹。

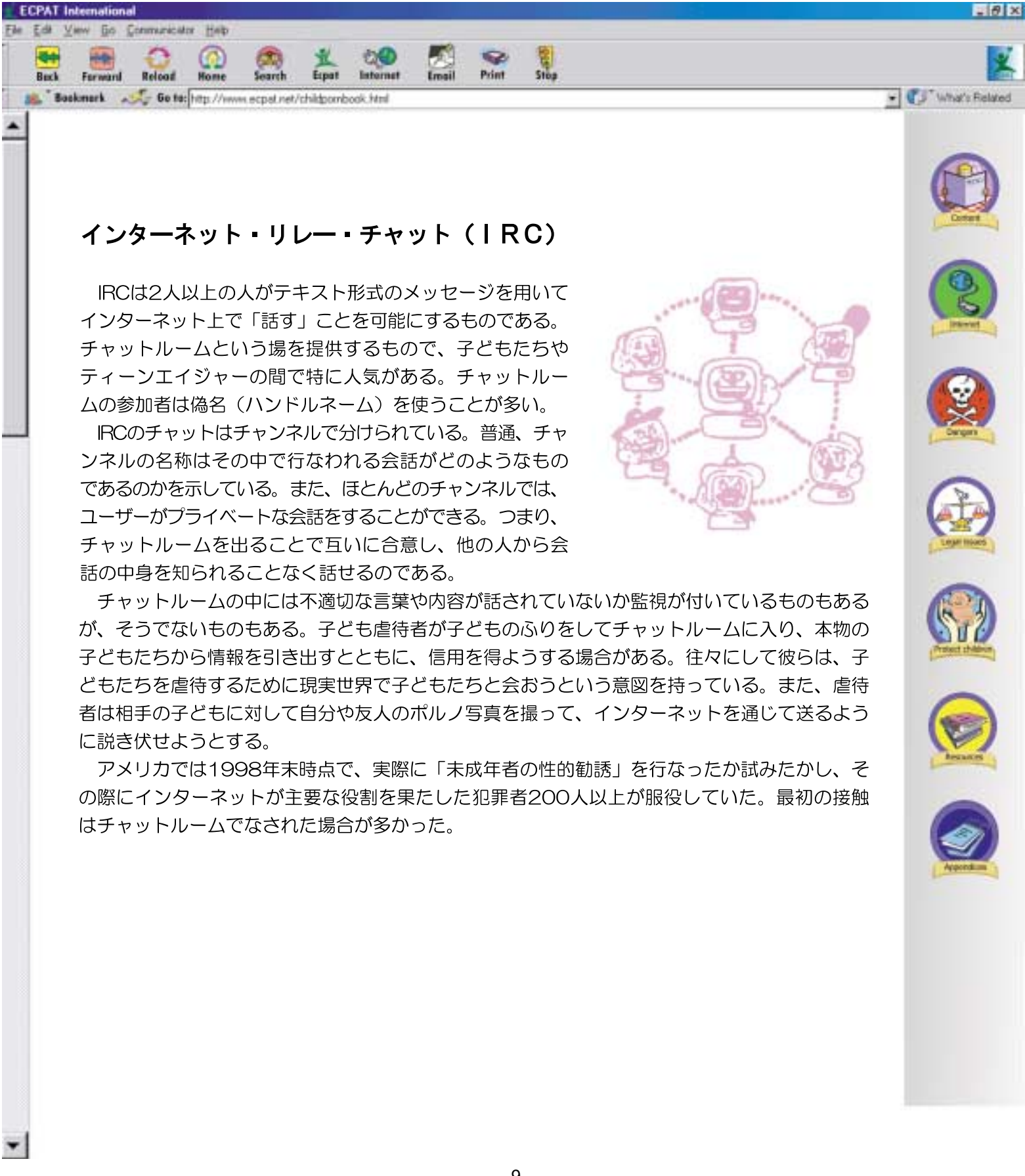
「Alt. Sex」グループは数百のサブグループに分かれている。大抵の場合、それぞれのサブグループの名称がそのグループの中心的なトピックを表している（例えば、ペドフィリア、獣かんなど）。アイルランドでCOPINEが行なった調査では、ニュースグループの0.07%に子どもエロチカや子どもポルノが含まれていたことが明らかになった²。この数字は、ニュースグループの数に照らせば相対的に小さいものであり、これらのグループで現実に出回っている子どもポルノの量を教えてくれるものではない。

ICQ

ICQ（“I seek you”（あなたを探してます）というフレーズと音が似ていることから付いた名前）は、ユーザーがチャットをしたいと思っている特定の相手がインターネットに接続しているかどうかを知らせるシステムである。そうして、もう一方のICQユーザーがチャットを開始することができるのである。チャットルームと同様に、ICQチャットには「見えない」モードがあり、参加者がその会話を隠れて行なうことができる。ICQのディレクトリーを利用すれば、知り合いでなくても共通の関心を持っている人を見付けることができる。

1 Background Paper for Child Pornography on the Internet Experts Meeting; John Carr, Lyon, France. May 28-29, 1998.

2 Paedophile Networks on the Internet: The Evidential Implications of Paedophile Picture Posting on the Internet; Rachel O'Connell and Prf. Max Taylor; The Copine Project, Dept of Applied Psychology, University College Cork, Cork City, Ireland.



インターネット・リレー・チャット (IRC)

IRCは2人以上の人がテキスト形式のメッセージを用いてインターネット上で「話す」ことを可能にするものである。チャットルームという場を提供するもので、子どもたちやティーンエイジャーの間で特に人気がある。チャットルームの参加者は偽名（ハンドルネーム）を使うことが多い。

IRCのチャットはチャンネルで分けられている。普通、チャンネルの名称は其中で行なわれる会話がどのようなものであるのかを示している。また、ほとんどのチャンネルでは、ユーザーがプライベートな会話を行うことができる。つまり、チャットルームを出ることで互いに合意し、他の人から会話の中身を知られることなく話せるのである。

チャットルームの中には不適切な言葉や内容が話されていないか監視が付いているものもあるが、そうでないものもある。子ども虐待者が子どものふりをしてチャットルームに入り、本物の子どもたちから情報を引き出すとともに、信用を得ようとする場合がある。往々にして彼らは、子どもたちを虐待するために現実世界で子どもたちと会おうという意図を持っている。また、虐待者は相手の子どもに対して自分や友人のポルノ写真を撮って、インターネットを通じて送るよう説き伏せようとする。

アメリカでは1998年末時点で、実際に「未成年者の性的勧誘」を行なったか試みたか、その際にインターネットが主要な役割を果たした犯罪者200人以上が服役していた。最初の接触はチャットルームでなされた場合が多かった。





ビデオ会議とテレフォニー



おそらく、リアルタイム・ビデオ会議ソフトの方がインターネット・テレフォニー・ソフトよりも広く入手可能であると思われる。マイクロソフトの無料ソフト「Net Meeting」は同社の最近のオペレーティング・システムを搭載したコンピュータに大抵の場合インストールされている。ほとんどの国で100米ドル未満で購入できる小型デジタル・カメラを使えば、画像と音声付きのリアルタイム会議を行なうことができる。

ICQは「Net Meeting」など約20のビデオ会議ソフトでも機能する。また、マイクロソフトは「Net Meeting」ユーザーのディレクトリーを提供しており、ユーザーはこれを利用して相手を見付けることができる。

新しいインターネット技術の多くと同様、ビデオ会議技術を利用した性的活動がかなり多くインターネット上で行なわれていると報告されている¹。

このような活動の大多数は大人の間のものであるが、1996年にはリアルタイムのビデオ伝送を利用して、子どもが性的に虐待された最初の事件と思われるものが発生した。

オーキッド・クラブ

国際的な子どもポルノ・リング（同盟）である「オーキッド・クラブ」は、1996年、アメリカ・カリフォルニア州サンノゼ警察の手によって解体された。「オーキッド・クラブ」の存在が分かったのは、同警察がメンバーの1人を子どもの性的虐待の容疑で逮捕した時であった。「オーキッド・クラブ」には遠くはフィンランド、オーストラリア、イギリス、そしてカナダといった国の人間が加わっており、虐待されている子どもの画像がビデオ会議ソフトを利用してリアルタイムで伝送されていた事件として初めて訴追されたものであると広く考えられている。このクラブに所属する男性少なくとも11人がインターネットを通じて幼い女の子が虐待されているのを見ると同時に、彼女を虐待していた男性に様々なポーズや虐待行為をリクエストする形で参加していた。

¹ <http://www.salon.com>



掲示板

掲示板は、離れたコンピュータ同士で情報を交換する仕組みとしては最初期のものの1つであり、あるコンピュータが掲示板の「ホスト」ととなる別のコンピュータに直接電話をして接続するものである。

普通、掲示板は個人のサーバーであり、そこからファイルをダウンロードしたり、他のユーザー向けにメッセージを投稿したりする。直接接続するため、IPアドレスは使われないか、必要ない。

厳密に言えば、掲示板はインターネットの一部ではなく、ニュースグループに大きく取って代わられており、後者の方も「掲示板」と呼ばれることがある。旧式の掲示板は現在でも存在しているが、発見されることを避けたいグループが利用していることが多い。

